

にのみや学園通信

R8.10.20

第43号

第1回にのみや学園小学校・中学校交流会 実施される。

9月4日(金)に「第1回にのみや学園小学校・中学校交流会」がラディアンホールで行われました。町内3校の6年生と2校の中学校1年生が明星大学教育学部教授の星山麻木先生によるワークショップ「自己理解・他者理解」に参加しました。今回は町内5校すべての小・中学校がそろっての開催となりました。司会進行は子どもたちを代表して中学生が務めました。

この交流会は、施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」のプロジェクトの一環で行われました。自分のことを理解すること、友達のことを理解すること、そして自分と友達との違いについて理解することにより、自分らしい生き方、仲間との人間関係の築き方について考えることをねらいとして5校の小・中学校の児童生徒と一緒にグループでワークショップを行うという方法で実施されました。

最初に、星山先生から、7色の子どもたちそれぞれのタイプ(「なんでも1番 正義のみかた…レッドくん」、「こころやさしい あわてんぼう…オレンジちゃん」、「すばやく動く 人情家…イエローちゃん」、「繊細な きちんとさん…グリーンくん」、「孤高の 天才…アクアちゃん」、「ゆっくり おおらか…ブルーくん」、「甘えん坊の さみしがりや…パープルちゃん」)について説明を受けました。子どもたちはスクリーンに映し出される絵本をしっかりと見ていました。

その後、子どもたちは、『私の虹色発見!』に各自で取り組みました。「この色はぴったり自分にあてはまる。」「この色は少し自分にあてはまるところがあるかな。」「この色は自分にあてはまらないな。」などと考えながら、ハート形及び自分で考えたイラストの枠の中を「自分にあてはまる」と感じた色を使って塗っていききました。どの子も自分のことをじっくり見つめ、自分にあてはまるタイプについて真剣に考えていました。

さらに他校の6年生及び中学生と一緒にあったグループで、自分が塗った色について交流しました。その後、多くの子どもたちが挙手をしてステージで自分の色とその理由について発表を行い、参加者全員でさらに自らの学びと交流を深めました。最後に、星山先生から「強みと苦手はみんな持っている。真実の自分をさらけ出すことが大切であり、このことが集団の中での居心地の良さに繋がっていきます。」というメッセージをいただきました。交流後のアンケート結果から参加した子どもたちは非常に高い満足度を感じたことをうかがうことができました。価値ある素晴らしい交流会となりました。…すべては「にのみや学園の子どもたち」のために…

子どもの感想

- 人それぞれ色々な個性があること、中学生になっても色々新しいことがあることを中学生から聞くことができた。(小6)
- みんな違っていいんだよということに気付いた。性格を色に表すと自分はこんな個性があるということが分かった。(小6)
- 来年後輩が入ってくるということを少し実感した。みんなの発表を聞いて自分とは違う色々な人がいることを感じた。(中1)
- 学校には色々な特性(タイプ)の人がいるんだなと思った。改めて自分がどんな人なのかを確認できて良かった。(中1)

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

